



2026年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年9月10日

上場会社名 神島化学工業株式会社

上場取引所

東

コード番号 4026

URL <https://www.konoshima.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 布川 明

問合せ先責任者（役職名） 取締役総務部長

（氏名） 藤村 倫夫

TEL 06-6232-5350

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年4月期第1四半期の業績（2025年5月1日～2025年7月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年4月期第1四半期	6,943	△0.6	528	△18.6	503	△20.5	352	△22.2
2025年4月期第1四半期	6,983	12.7	649	56.5	633	54.1	453	65.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期第1四半期	38.90	38.69
2025年4月期第1四半期	50.07	49.81

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年4月期第1四半期	30,542	13,166	42.9
2025年4月期	30,731	12,964	42.0

（参考）自己資本 2026年4月期第1四半期 13,111百万円 2025年4月期 12,907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2026年4月期	—	—	—	—	—
2026年4月期(予想)	—	23.00	—	23.00	46.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年4月期の業績予想（2025年5月1日～2026年4月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	13,500	△2.9	940	△7.7	900	△8.4	650	△8.0	71.70
通期	28,100	2.5	2,200	23.2	2,100	22.2	1,500	4.7	165.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年4月期1Q	9,240,000株	2025年4月期	9,240,000株
2026年4月期1Q	171,756株	2025年4月期	174,740株
2026年4月期1Q	9,066,002株	2025年4月期1Q	9,053,022株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(表示方法の変更)	6
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、賃上げによる所得環境の改善やインバウンド需要の拡大などにより、緩やかな回復基調となりました。一方で、慢性的な物価上昇に加えて、米国の関税政策の影響などにより、先行きは不透明な状況が続いております。

当社建材事業の主要マーケットである住宅市場において2025年4～6月の新設住宅着工戸数は、2024年度末に発生した建築基準法・建築物省エネ法改正前の駆け込み需要の反動減により、前期比マイナスとなりました。

このような経営環境の中、当社は、『環境対策等の社会課題へ対応することによって持続的成長モデルを構築し、社会貢献と利益拡大を両立』、『資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応』の中期経営計画の基本方針に基づき、経営に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高は6,943百万円と前年同四半期比40百万円(0.6%)の減収となりました。営業利益は528百万円と前年同四半期比120百万円(18.6%)の減益、経常利益は503百万円と同129百万円(20.5%)の減益、四半期純利益は352百万円と同100百万円(22.2%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①建材事業

住宅分野は、高付加価値製品の高級軒天ボードの販売が好調に推移したことなどにより、増収となりました。

非住宅分野は、ビル工事遅れが依然として続いており、減収となりました。

これらの結果、売上高は3,771百万円と前年同四半期比63百万円(1.7%)の減収となりました。セグメント利益(営業利益)は、値上げによる増益効果や収益改善に取り組んだものの、減収影響により、284百万円と同17百万円(5.9%)の減益となりました。

②化成品事業

マグネシウムは、米国の関税政策による影響で、高付加価値製品であるサプリメント用途の酸化マグネシウムが低調であったものの、工業用途の酸化マグネシウムの拡販を進めたことにより増収となりました。

セラミックスは、概ね前年並みに推移しました。

これらの結果、売上高は3,171百万円と前年同四半期比23百万円(0.7%)の増収となりました。セグメント利益(営業利益)は、値上げによる増益効果があったものの、販売構成の変化や固定費増加などにより、468百万円と同89百万円(16.0%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は30,542百万円となり、前事業年度末(以下、「前年度」という。)に比べ188百万円減少となりました。主な減少要因は、有形固定資産が245百万円減少したことによるものであります。

負債は17,376百万円と前年度に比べ390百万円減少となりました。主な増減要因は、設備関係電子記録債務が962百万円減少し、短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は13,166百万円と前年度に比べ201百万円増加となりました。主な増加要因は、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月期の業績につきましては、2025年6月11日の決算発表時に公表いたしました数値から、変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,439	1,303
受取手形及び売掛金	3,752	3,879
電子記録債権	1,113	1,252
商品及び製品	2,796	2,832
仕掛品	853	851
原材料及び貯蔵品	1,469	1,486
その他	382	350
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	11,806	11,955
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,555	5,552
機械及び装置（純額）	8,097	7,797
土地	1,420	1,420
建設仮勘定	1,251	1,339
その他（純額）	841	811
有形固定資産合計	17,165	16,920
無形固定資産	100	92
投資その他の資産		
投資有価証券	418	492
繰延税金資産	769	641
その他	472	442
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,658	1,575
固定資産合計	18,924	18,587
資産合計	30,731	30,542

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,799	1,782
電子記録債務	1,018	1,077
短期借入金	5,700	6,300
1年内返済予定の長期借入金	1,120	1,318
未払法人税等	128	65
賞与引当金	466	221
製品保証引当金	82	78
設備関係支払手形	3	1
設備関係電子記録債務	1,210	247
その他	1,964	1,728
流動負債合計	13,493	12,822
固定負債		
長期借入金	2,104	2,442
退職給付引当金	1,871	1,897
訴訟損失引当金	45	7
その他	252	206
固定負債合計	4,273	4,553
負債合計	17,766	17,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,094	1,094
利益剰余金	10,546	10,699
自己株式	△207	△203
株主資本合計	12,754	12,910
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	153	201
評価・換算差額等合計	153	201
新株予約権	57	54
純資産合計	12,964	13,166
負債純資産合計	30,731	30,542

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)
売上高	6,983	6,943
売上原価	5,040	5,069
売上総利益	1,943	1,873
販売費及び一般管理費	1,293	1,344
営業利益	649	528
営業外収益		
受取配当金	8	10
その他	6	6
営業外収益合計	14	17
営業外費用		
支払利息	24	35
その他	6	7
営業外費用合計	30	42
経常利益	633	503
特別損失		
固定資産除却損	4	1
特別損失合計	4	1
税引前四半期純利益	628	501
法人税、住民税及び事業税	75	46
法人税等調整額	99	102
法人税等合計	175	148
四半期純利益	453	352

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(損益計算書)

前第1四半期累計期間において、独立掲記していた「営業外収益」の「物品売却益」は、金額的重要性が乏しくなったため、当第1四半期累計期間より「営業外収益」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期累計期間の四半期財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期累計期間の四半期損益計算書において、「営業外収益」の「物品売却益」に表示していた2百万円は、「営業外収益」の「その他」として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,835	3,147	6,983	—	6,983
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,835	3,147	6,983	—	6,983
セグメント利益	302	557	859	△210	649

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△210百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△210百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,771	3,171	6,943	—	6,943
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,771	3,171	6,943	—	6,943
セグメント利益	284	468	752	△224	528

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△224百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△224百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)
減価償却費	505百万円	493百万円